

(令和元年 10 月試験研究業務月報)

試験研究課題：クロアワビ潜水漁業総合管理技術開発

研 究

アワビ増殖試験魚礁にウニの棲みつきを確認

京都府の海では、岩の隙間などにアワビ稚貝とウニが同居する様子が多く観察されます。これは、ウニの鋭いトゲの下にいてタコなどの害敵からアワビ稚貝が身を守っていること、ウニが棲みついた岩の隙間などにはアワビ稚貝の餌となる無節サンゴモと呼ばれるピンク色の海藻が育ちやすくなることから、ウニの棲む隙間はアワビ稚貝にとって都合が良いと考えられています。

海洋センターでは、ウニを棲みつかせてアワビ稚貝を保護する魚礁の開発に取り組んでいます。自作した試験魚礁を8月に海底に設置したところ（8月の業務月報を参照）、10月には5個体のウニが魚礁で確認されました。ウニの棲みついた溝内には無節サンゴモが生え始めており、アワビ稚貝にとって良い環境が形成されつつありました。引き続き観察を続けます。



海底設置後約3ヶ月の試験魚礁
5個体のウニの棲み付きを確認



溝に棲みついたウニ
ウニ周辺に無節サンゴモを確認